

令和6年11月17日にプラズマ・核融合学会のインフォーマルミーティングにて、スクーリング・ネットワーキング事業の公募要領の説明を行った際の質疑応答を掲載します。

Q 2.1の2024年度スケジュールの表の契約にかかる期間はどれくらいか。

A 核融合研の手続きとして1週間以内を見込んでいます。なお、契約の相手方となる機関の事務手続きが必要となりますので、1週間以上となる場合があります。

Q 来年度も同様の事業を予定しているのか。

A 未定ですが、現在検討を進めています。

Q 人材交流で学生が、例えばJETの見学に行くことは可能か。

A JETなど海外の実験施設に見学に行くことも可能です。

Q 留学生は対象か。

A 留学生も対象です。

Q FSSのスクールで、例えばNIFSのソフトを勉強するような企画は可能か。

A 講義、実習・見学、参加者による研究発表、参加者や講師も含めたネットワーキング等によって構成されるスクールを想定しています。

Q 採択されたFSSでは、受講者を募集するのか。

A そのように想定しています。

Q FSSの実行委員会に必要な3つの機関に、海外の機関を含めてもよいか。

A 全国的に広く人材育成ができる体制であることが望まれるため、今回は国内の大学や研究機関等に限定します。

Q FSSで海外からの講師を招へいすることは可能か。

A 招へいすることは可能です。

お問合せは下記のスクーリング・ネットワーキング事業事務局までお願いします。

核融合科学研究所 管理部研究支援課国際支援係

Tel: 0572-58-2045 E-mail: kokusaishien@nifs.ac.jp